

## ⑧ 小中学生の農林漁業体験学習等の拡大

### 小学生の花育教室

花の王国あいち県民運動実行委員会は暮らしの中に花を取り入れる「花いっぱい県民運動」を平成25年度から展開しており、その一環として、毎年度、小学生への花育に取り組んでいます。管内での取組状況は、特に、平成27年度には小学校への事業推進を通じて、過去最多の4校で花育教室が開催され、3ヶ年で7市町の小学校計9校（児童計523名）となりました。

花育教室では、子どもたちがフラワーアレンジメントや寄せ植えの作品作りに取り組みました。子どもたちは初めのうちは戸惑っていたものの、次第に花の扱いに慣れ、卒業生へのはなむけや、保護者への感謝などのそれぞれの気持ちを存分に入れ込んだ作品ができあがりました。

生きた花に触れて作品を作り上げ、贈るという体験を通じて、子どもたちの花への親しみが高まり、花や緑を取り入れた心豊かな暮らしを将来にわたって実践することが期待されます。



二人一組で寄せ植え

### 森や木のことをみんなで学ぼう！

地域の皆様に森林の働きや木材の良さを知って親しみを感じていただき、県産木材を積極的に使っていただくため、「あいち木づかい出前講座」を開催しています。

平成27年度は1,412人の方々を対象に14回開催しました。

長久手市東小学校では児童と校舎周辺にある樹木を観察し、身近な樹木にはさまざまな種類があることや、季節により変化があること等をいっしょに学び、森林に興味をもってもらうことができました。



「もりのはなし」



樹木観察のようす

## ⑨ 「いいともあいち運動」の推進等による地域の農林水産業や食育に対する理解促進

### 清須市食育まつりでいいともあいちをPR

愛知県では、農林水産業が果たしている役割を県民の方々に理解してもらい、積極的に応援していただく「いいともあいち運動」に取り組んでいます。

平成27年11月21日には、農政課は、いいともあいちネットワーク会員である一宮市のきのこ生産者ととも清須市食育まつりに初出展しました。

当日は、きのこ生産者が地元の原木シイタケをPRをするとともに、県の担当者はパンフレットを用いて、いいともあいちを来場者一人一人に説明、紹介しました。



いいともあいち  
シンボルマーク



会場風景



きのこのPR

### 地元農産物でおいしいごはんを！

小牧市生活改善実行グループ連絡協議会では、米や野菜など地元小牧産の農産物の消費拡大や周知を目的に、平成27年度から市民講座料理教室で講師を務めています。農業改良普及課では、協議会会員を対象に調理や指導技術を高めるための研修等を支援してきました。

市民講座第1回は小牧産のお米を使ったカエルなどの絵柄の「飾り巻き寿司」や「生姜焼肉入り巻き寿司」を作りました。第2回は生芋で作るこんにゃくをメインに「塩おむすび」「ごぼうと人参のきんぴら」「えび芋団子」など地元産の農産物をふんだんに使った12品の「野菜たっぷりワンプレートご飯」で、作り方のコツなどを教わりながら参加者と会員が交流する姿も見られました。

今後も、地元産農産物の魅力を「農家のお母さん」ならではの視点で発信していくことが期待されます。



小牧産のお米で飾り巻き寿司づくり

## 直売所「ぐうぴいひろば」がオープン！

J A尾張中央の直売所「ファーマーズマーケット『ぐうぴいひろば\*』」が平成 27 年 4 月 24 日、春日井市松本町にオープンしました。組合員の生産意欲の向上と所得の増加、地元農産物提供を通じた地産地消の推進を目指すもので、敷地面積は約 2 万㎡、約 300 台収容の駐車場があり、県内でも最大級の直売所となります。

同直売所には、春日井市、小牧市、豊山町の農家が生産した野菜、果物などを毎日出荷・販売。出荷者には、栽培履歴書の提出を義務付け、消費者は店内の端末とバーコードで栽培履歴を確認できるなど、新鮮で安全・安心な農産物の提供に力を入れています。

他にも、J Aあいち経済連と連携した県産精肉、豊浜漁港で水揚げされた魚介類や小牧市産のももを使用した菓子、地元で生産した卵、豚肉等を使った惣菜・加工品も販売し、品揃えの充実に努めています。

同直売所では、特産のもも、ぶどうなど旬な果実の試食イベント、テント販売などの出荷者参加型や J A間連携型の各種イベントの開催によって農産物を PR するとともに、小学校の職場見学の受入や、消費者が参加する漬物講習会の開催など生産者と消費者の交流拠点としての取組も幅広く展開しています。

なお、尾張農林水産事務所は、10 月 19 日に「いいとも地域サロン」を「ぐうぴいひろば」に隣接する同 J A不二支店で開催しました。当日は、生産者、製造業者、消費者、大学生等 41 名が参加し、地元農産物等についての意見交換や試食を行い、交流を深めました。

今後、「ぐうぴいひろば」をはじめ、尾張地域の直売所が地産地消と地域交流の拠点として発展するよう、直売所間の連携を支援します。



オープンした直売所「ぐうぴいひろば」



賑わう直売所



いいともあいち地域サロン

\*ぐうぴいひろば...店名は公募で決定されたもので、「ぐうぴい」は同 J A のマスコットキャラ、特産物ぶどうの「ぐうちゃん」とももの「ぴいちゃん」を表し、生産者と消費者が集まる、直売所ならではのふれあいの「ひろば」になることを目指しています。